

## 1 級 実技（面接）試験実施概要

**実技（面接）試験**は、以下の実施方法により行われます。

1. 実施方法：ロールプレイ …… 30 分  
口頭試問 …… 10 分（口頭試問は試験官からの説明・質問等も含まれます）
2. 事例は、次頁の 3 ケースのうち 1 ケースが出題されます。
3. 受検者は、民間の相談機関等において、キャリアコンサルティングの実践を行いながら、キャリアコンサルタントに対して事例指導の役割を担っていると仮定してロールプレイを行います。  
  
事例指導とは、相談者へのよりよい支援と、事例相談者のキャリアコンサルタントとしての成長を目的に、事例相談者の担当する事例を通して指導を行うものです。具体的には、相談者に対する面談過程、事例の見立てや対応の方針、組織への働きかけ、リファーやコンサルテーション、事例相談者に不足する態度、役割意識、知識やスキル等について、気づきを促し情報提供や助言を行うことです。
4. 事例相談者(キャリアコンサルタントの役割)は試験係員が行います。
5. 最初に受検者（事例指導者）から自己紹介（ご自身の専門領域や理論的な立場などについて 1 分程度で説明）し、事例相談者に対し事例内容についての説明を求めてください。その後の事例指導の進め方は自由ですが、事例相談者との間に教育指導関係を築き、事例を通して事例相談者の問題を把握し、事例相談者への育成的な目標を設定するなど、具体的な指導を行うよう心がけてください。
6. 受検室にボールペンとメモ用紙を 1 枚準備します。受検中は自由に使用可能です。なお、ボールペン、メモ用紙は一切持ち出しできません。
7. ロールプレイ後、口頭試問を行います。  
口頭試問の例：  
①今回のロールプレイを振り返って、ご自分の良かった点、改善したい点は何ですか。  
②この事例相談者の事例の進め方の問題は何でしょうか。  
③事例相談者の問題を事例相談者と共有するためにどのような働きかけをしましたか。
8. 合格基準は 100 点満点で 60 点以上の得点です。評価区分は基本的態度、関係構築力、問題把握力、具体的展開力の 4 区分です。なお、評価区分ごとに満点の 60%以上の得点（所要点）が必要です。
9. 厳正な採点を行うため、面接試験内容を録音します。受検者は受検に際し、資料等の持ち込み、録音は一切できません。なお、録音をしていた場合は失格となります。

厚生労働大臣指定試験機関

特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会

〒105-0021 東京都港区東新橋 2 丁目 11 番 7 号 住友東新橋ビル 5 号館 9 階

TEL 03-5402-4688

## 【1級 第12回 実技（面接）試験 ロールプレイケース内容】

ロールプレイは、事例相談者と受検者（事例指導者）のみで行います。相談者に関することはロールプレイの中で、事例相談者に説明を求めてください。

### ケース1

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Aさん、男性（30歳）

相談者が相談したこと：最近は主にリモートワークで仕事をしてきたが、今後は会社の方針で、全員出社することになった。この2年間、子どもの保育園が度々休園することがあったが、家で仕事のできたので、共働きの妻に協力することができた。今後のことを考えると、リモートワークが可能な会社に転職をしたほうが良いと考えているが、初めての転職であること、また気持ちの整理もしたいと思い、相談にきた。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：コロナ禍で急速に働き方が変化する中での転職であるため、じっくりと検討することが必要と考えた。全員出社という会社の今後の方針や働き方について情報収集すること、家族に相談することを伝えた。しかし、約束した次の面談に来訪はなく、後日退職したと聞いた。支援の方法に問題があったのではないかと思い、指導を受けたい。

### ケース2

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Bさん、女性（19歳）

相談者が相談したこと：通信制高校を卒業後、介護の職業訓練を受講し修了まであと2か月となった。クラスの仲間のほとんどが就職先を決めているのに、自分はまだ決まっていない。今まで3つの施設で面接を受けたが全て不採用だった。これまで応募書類など書いたこともないし、面接でも何を話せばよいかかわからず、不安になって相談にきた。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：不採用の理由を確認したく模擬面接をしたが、Bさんが途中で言葉を失ったため中断した。その日は応募書類の作成ポイントを伝えるに留めて、次回にまた模擬面接をすることとし、予定時刻よりも早く面談を終了した。訓練修了までに就職先を決められるよう計画的に支援を行う予定だったが、約束した日に休むなど何度か面談が延期になっている。Bさんが無事に就職するための支援について、指導を受けたい。

### ケース3

事例相談者：キャリアコンサルタント（相談歴2年）

相談者：Cさん、男性（17歳） 公立工業高等学校 電子機械科3年生

相談時期：7月

相談者が相談したこと：地元の優良メーカーの採用選考試験に学校推薦で応募できることになった。在籍する高校からはほぼ毎年1名前後が採用されているが、他県でも大変人気がある企業のため、学校推薦でも不合格となることが度々あると担任から聞いている。合格するための秘訣を教えてほしいと、相談にきた。

キャリアコンサルタントが相談したいこと：Cさんには「自己理解」「仕事理解」が不足していると判断したので、次回の課題として「自己PR」「志望動機」を作成してくるよう伝えた。2回目の面談で、Cさんはきちんと課題をこなしてきたので、模擬面接を行ったが、質問に対する回答に詰まってしまう、そのまま面談終了の時刻になってしまった。高校生に対する就職支援のスキルを高めるためにはどうしたらよいか、指導を受けたい。

以上